

ビジネスアイディアの概要

問題：土砂崩れの危険性を正しく把握できておらず、防災分野において持続的な収益の循環が確立されていない。

課題：土砂崩れに関するデータが分散しており、一元的に管理・活用されていない。また、森林が持つ価値を十分に活かしきれていない。

独自性：土砂災害や森林に関する関連データの高い網羅性と、多様な観点からの森林価値評価を可能とする点。

事業化：土砂崩れの危険度情報および森林価値評価の情報を、全国規模で提供する事業を展開。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

技術面：データの収集およびフォーマットの統一、技術的な方法論の確立。
土砂崩れの発生を起点として、危険情報や森林価値情報を継続的に更新できる体制を構築

事業面：森林価値に関する情報を必要とする企業の検証。
森林や地域に関わる企業との連携の構築。

事業化の見通し

- ①データ、②制度、③連携が整っている地域では、実証を進めることが可能である。一方で、他の地域への展開においては、これら三要素のいずれかが欠けている場合、事業化の障壁となる可能性がある。そのため、データの保有や活用に関わる企業との連携を進めながら、事業化を目指す。
- また公共性の高い事業であるため、既存の評価手法との比較を示しつつ、担当者との継続的な対話を通じて理解を得ながら、段階的な導入を進めていく。

事業者情報

- 大平 尚輝
 - 北陸先端科学技術大学院大学
博士後期課程2年
 - 株式会社OWL研究所



ビジネスアイディア概要図等

